

令和6年度 江戸川区立第三松江小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりのある子 仕事をやりぬく子 すすんで学習する子 体をきたえる子 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの意欲や主体性を促す問題解決的な学習等の指導の研究推進 いじめや不登校に対する組織的対応の努力 組織的運営と働き方改革に基づく取組の進展 	課題 <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づく思考力等の育成の具現化 靴そろえやあいさつなどの基本的な生活習慣の定着 コミュニティ・スクールモデル校として学校・地域・家庭の連携 教職員の自律的組織的運営の定着と働き方改革の一層の推進 	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案	
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		
学力の向上	○思考力表現力判断力等を養うための授業の改善・充実	①各教科等の思考力表現力判断力等を養う「問題解決的な学習」の充実	①ア.校内研究や授業観察 検証60回 ①イ.学習指導要領学年内容90%以上	80%		B	①学力調査 国語：都と同水準 算数：都より-2P 内部評価：成果AB84% 算数CD層重点に授業改善	B	保護者：思考力等の育成や問題解決的な学習の取組がよい。算数の向上に期待する。						
	○知識・技能の定着を図るための取組の充実	②繰り返し指導や個に応じた指導の充実 ③家庭学習や放課後補習教室の継続実施	②③学習指導要領学年内容90%以上	80%		B	②全学級繰り返し指導や個に応じた指導の実施 ③家庭学習キャンペーンの実施 内部評価：成果AB89%	B	保護者：家庭での学習習慣を定着させたい。個に応じた宿題の量を期待したい。						
	○読書科の更なる充実	④社会や自然等の探究的な学習活動の実施 ⑤図書・図書館を活用した授業の実施	④探究的な学習 学級3回以上 ⑤図書館活用授業 学級3回以上	70%		B	④人や社会、自然に関わる探究的学習の実施 ノートにまとめ ⑤学年毎の読書冊数の設定と推進 図書ポラ読み聞かせ実施	B	保護者：更に学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。家庭でも読み聞かせができるようになるとうい。						
体力の向上	○体力・運動能力の向上を図るための取組の充実	⑥区取組 短なわ跳び週間の実施 ⑦日常体育と運動遊び等の充実	⑥児童が自ら設定した級達成90%以上 ⑦ア.学習指導要領学年内容90%以上 ⑦イ.運動遊び習慣（体育館）学年10回	75%		B	⑥内部評価：取組AB97% 成果AB92% 全学級 区取組「短縄跳び」実施 ⑦内部評価：取組AB97% 成果AB92% 全学級 運動遊びの実施 習慣化が課題	B	保護者：短縄跳びを継続して取り組んでいる点が良い。一層の体力向上を期待する。 保護者・体力テストの結果も踏まえて、一層の体力向上に取り組んでほしい。						
	○特別支援教育の充実	⑧併設特別支援学級と通常級の共同学習の実施 ⑨特別支援学級における個に応じた指導の充実	⑧実施学級100% ⑨その児童に応じた学習指導要領内容90%以上	80%		B	⑧体育的行事やたてわり班活動など共同学習の実施 ⑨支援学級 学年ごとに発達段階に応じた指導の実施	B	保護者：通常学級と特別支援の先生が連携して個別最適な支援や共生の姿勢を養っている点が良い。継続してほしい。						
教育の推進 共生社会の 実現に向けた	○自他尊重と共生の姿勢を養う取組の充実	⑩異学年交流 ⑪教科等の指導による考え方の醸成	⑩たてわり班活動等、学期1回以上 ⑪道徳、社会科等、学期1回以上	80%		B	⑩たてわり班活動の実施 たてわり班による遠足計画 ⑪全学級 道徳等 自他尊重・共生に関する授業実施	B	評議員：異学年の交流は縦のつながりを学ぶ機会になる。遠足にも異学年交流を取り入れるのはよい。継続してほしい。						
	不登校・いじめ対応の充実	○いじめの未然防止・不登校対策の実施・充実	⑫豊かな心の育成の充実	⑫ア.⑨⑩に同じ ⑫イ.人間関係の道徳や学級活動等 月1回以上	75%		B	⑫ア.⑨⑩に同じ ⑫イ.全学級 道徳や学級活動等人間関係に関する授業実施	B	保護者：学校公開で先生が子どもに人間関係について考えさせたり、子ども同士のつながりを深めようとしていたのがよい。					
		⑬児童の実態把握に基づいた指導の推進	⑬ア.全学級QU結果指導2回以上 ⑬イ.個別対応会議等週1回	75%		B	⑬全学級 QU分析に基づく指導・学級経営の改善の実施 個別対応会議21回実施	B	保護者：きまりやルール等の徹底などがよい。継続してほしい。また迅速な対応・指導を続けてほしい。						
⑭組織的対応と学校相談の充実		⑭ア.個別対応会議等週1回 ⑭イ.学校相談 毎日（200日）	90%		A	⑭内部評価 取組：AB100% 成果：AB100% 相談・関わり件数のべ7097件	A	保護者：学校としてきめ細かく相談に応じている。保護者は安心する。							
学校（園）の 地域社会に 開かれた 実現	○区コミュニティ・スクール（CS）モデル校として学校・地域協働による学校運営・教育活動の充実の先行実施	⑮学校評議員会を基盤にした学校運営協議会の実施と協議・協働	⑮学校評議員会の定例会3回と随時 ⑮イ.モデル報告2回	60%		B	⑮学校評議員会の実施：①経営方針や取組説明、②コミュニティ・スクールモデル校のあり方を検討中	B	学校評議員：逐次、成果や課題、取組や改善点を伝えているのがよい。コミュニティ・スクールに期待する。						
	○区子ども権利条例に基づく子どもの意見表明	⑯区子ども権利条例に基づく子どもの意見表明	⑯学校評議員会で子どもの意見表明と受けての協議・対応1回以上	30%		C	⑯コミュニティ・スクール立ち上げ中 今後、子どもの意見表明等の体制を整える	B	学校評議員：子どもに意見表明の場を設けるのはよい。具体化を進めてほしい。						
	○学校相談の推進・充実	⑰いつでも・誰にでも相談できる相談体制の整備と実施	⑰全教職員による面談、電話、連絡帳等の相談 毎日（200日）	90%		A	⑰内部評価 取組：AB100% 成果：AB100% 相談・関わり件数のべ7097件	A	保護者：学校としてきめ細かく相談に応じている。保護者は安心する。						
教育の 特色ある 展開	○豊かな心の育成の充実	⑱靴そろえ・あいさつ・身だしなみ・正しい遊び等の基本的な生活習慣の重点指導の実施	⑱ア.靴そろえの指導 毎日200日 ⑱イ.あいさつ他、毎月重点指導35回	90%		A	⑱ア.全学級 考えさせる指導や振り返り指導等の実施 ⑱イ.定期的に重点指導実施 毎週教職員で共有 次の指導へ	A	学校評議員：象徴的な指導取組として全校で取り組んでいるのがよい。継続・充実を期待する。						
	○CSモデル校 区子ども権利条例に基づく子どもの意見表明	⑲に同じ	⑲に同じ	30%		C	⑲コミュニティ・スクール立ち上げ中 今後、子どもの意見表明等の体制を整える	B	学校評議員：子どもに意見表明の場を設けるのはよい。具体化を進めてほしい。						